



## 最近の世相雑感

小林 啓次郎\*

ばやし漫才というのを御存知だろうか。世の中に対する色々な不平不満や矛盾を、ちょっぴり皮肉って面白おかしく客を笑わせ、最後には「責任者出てこい」という台詞（せりふ）で幕となるのだが、私もこれを真似て、いささか現在の世相に対し思いつくままにぼやかしてもらうことをお許しいただきたい。

### 政治の話

今日の政治家は、政治屋になり下っているのではないかとよく皮肉られる。また選挙に出たがる人には徳がなく、出したい人には金がないとも言われる。選挙の時の大騒ぎも何とかならないものかと思うが、選挙が終れば終わったで、もうその翌日から次の選挙運動を始めているようなものだ。本業の政治活動そっちのけで、選挙区民に迎合するようなことに力と時間の大半を奪われているような気がしてならない。我々は政治家には所謂「政治」を望んでいるのだから、選ぶ側も、もっと大局的な見方での判断、評価をする必要があるだろう。

大体、政治家ともなれば、世の為、人の為になると信じれば、一つでもよいから思い切って大きなことをして、堂々と引退するぐらいの気概がほしい。その方が逆に後になって評価が高まるのではないだろうか。

また、御存知のように日本のトップの政治家は年をとり過ぎている。なかなか若手の政治家が主導権をとらせてもらえない。姑根性もあってか、若手が一人前に扱ってもらうまで時間がかかり過ぎるためだろう。先輩は後継者の育成につとめ、或る時期には体力も気力も十分な若い人を表に立てて、自分は蔭に廻って支援するぐらいのことができないものか。

70歳にもなる大平首相が、あの超過密スケジュールをこなされることは元来無理なことだろう。幾ら頑健といっても、あの歳では殆んどの人が倒れたに違いない。今後のこともある。総理の地位ともなれば、超多忙も宿命であろうが、せめてプライベートの時や休暇中ぐらいいは、マスコミも追かけ廻さずに、心身共に休養をとってもらうことこそ人権の尊重ではなかろうか。

### マスコミの話

いろはがるたに「無理が通れば道理が引っ込む」というのがあるが、今日此頃は、一部の極端論が幅をきかし、良識派の声が蔭をひそめてきたのではなかろうか。たまに勇気をもって発言した者が袋叩きにあうことが多いので、次第に声が小さくなっていく。発言の自由と言いながら、寧ろ片寄った少数意見がまかり通っているのではないだろうか。

これはマスコミにも責任がある。商売上極端なことを取り上げた方が一般受けし、商売に利することになることもわかるが、そこはよく考えてほしい。また、拙速でもよいこともあるが、矢張り正しく伝えることが基本であることを忘れてはならない。もともと訂正記事をのせねばならぬような報道は困るのだが、万一誤報の時には、従来のように、どこにのったかわからぬような訂正の仕方では釈然としない。今後は「本日の訂正欄」でも設けて、目につくようにしてもらってはどうか。些細なことは別として、特に人権に関する事などは、一旦間違っ取り扱われた人々の迷惑を考えると、これぐらいのことは当然であろう。

大体、スクープを狙う余り、機密を知りたがる記者根性もわからぬでもないが、ことの大小や及ぼす影響をよく判断してからにしてほし

\*小林啓次郎 (Keijiro KOBAYASHI), 大阪変圧器株式会社, 取締役社長

い。また、内容についても、最近とみに増えた銀行強盗などの手口を刻明に知らしてもらうことは、今後の防止に役立つが、犯人を掴えた時のノウ・ハウまで報道することは悪人の手伝いをしているようなものだ。例えば、刑事が銀行員になりすまして掴えたとか、睡眠薬入りのジュースを飲まして掴えたとかいうのがそれである。また、犯人逮捕に協力した人の住所、氏名などを書くのも、その人にとっては迷惑な場合が多いだろう。更に不幸のあった家族にマイクをつきつけて、今の気持はどうかなど聞くのも非常識極りない。自分の身内の場合を考えれば、そんな質問は出来ない筈だ。大体、最近は一般的に報道の自由という名のもとに、相手の立場を余り考えず、思いやりのある態度が少なくなっているのではないだろうか。

勿論、善行は大いに賛え、悪事は徹底的に叩いてほしいことは言うまでもない。

### 犯罪の話

最近はいよいよ一服しているが、むごたらしい爆破事件や、またほんの一つまみのハイジャッカーのために、日本でも年間何百万人かの人々が飛行場で行列させられ検査される馬鹿馬鹿しさ。時間も惜しいが、その気分の悪さ加減は言いようもない。多くの警察官やガードマンが配置され、幾らか失業対策にはなっているかも知れないが、それより何にも増して犯人の行為、関係のない善良な人々を殺戮する行為は絶対に許せない。「盗人にも三分の理」といわれるが、最近世の中が悪いせいだと識者も社会の責任にする風潮がある。然し、もっと恵まれぬ人でも、更に苦しい環境の中であって真剣に働き、正しく人生を送っている以上、通る話ではない。

大体、極悪犯人の極刑は当然としても、善民の生活をおびやかすような犯罪は前科三犯ぐらいともなれば、普通の社会に住む権利は放棄してもらい、どこか一個所で別の社会を構成させ、それなりの人権は尊重しながら生活してもらったらどうだろう。いろいろ理由はあるにしても、一人の犯罪の繰返しが世の中に迷惑をかけることが多いことを考えれば止むを得ないの

ではなかろうか。そして、そういう社会で働いた給料から被害者に弁償すべきだろう。殺傷などの犯罪は金銭で解決出来ない場合も多いだろうが、一生かかってもこうすることが被害者の家族に対するせめてもの罪の償いであろう。

どうも犯罪の数が増えて面倒が見きれぬのか、簡単に出所さすから、一部の世界では刑務所に入ってきた回数でハクがついて行くというようなことにもなりかねない。論外の話だ。

### 乗り物の話

技術の進歩は大いに結構だが、次々と進歩してゆく技術を世の中の受け入れ態勢のことも充分考えずに、そのまま実用に供してよいものばかりだろうか。尤も、逆に必要以上に用心し過ぎていることもあるが。

前者の場合、時速200 km、東京・大阪間3時間10分ずつ走る新幹線、一応スピードアップで結構なようだが、そのために騒音や震動で周囲に迷惑がかかるなら、少しスピーを落し150 kmぐらいで公害を減らして、4時間半程度でもそう不便はなかろう。人間はそれなりに合せた行動をする筈だから。

また、自動車などのスピードも、日本では時速100 km以上で走ってよい処はないと思うのだが、現実には幾らでもスピードの出る自動車が出廻っている。おかしいといえばおかしい話だ。技術の向上のため、絶えず上位の研究に取り組むことは確かに必要で、ケチをつける気持は全くないが、一度思い切ってスピード・リミットのある車にしたなら、少しは交通事故も減り、暴走族の気持も押えることになるかも知れない。

話は変わるが、最近アメリカで居眠り運転防止装置が開発されたと聞くと、原理は一定時間のまばたきの回数を電氣的に自動計測して、その回数の変化でブザーを鳴らして知らせるといったものらしいが、これも一見危険防止上結構なものようであるが、却って人間の緊張感を緩めて逆効果になるのではなかろうか。便利さもほどほどにすることがよい場合もある。余りの便利さや過保護は人間の機能を退歩させることを忘れてはならない。

また、御存知のようにスピード違反取締りの

所謂「ネズミ取り」装置に対抗して、取締り地点に近づけば事前に探知して警報が鳴る検出装置が出来ているが、噂に聞くと、この両装置を同一メーカーが造っていると言う。もし本当ならば、正に現代版矛盾話。業者にとっては生きんがための止むを得ぬ自衛手段と言うべきか、商魂の逞しさと申すべきか言う言葉を知らない。

### 教育の話

世の中の乱れは、教育の不足にあると言っても過言ではない。何か重大事が起れば、当然その原因を探究し再発を防止する努力をする。然し、それは技業を切り取っているに止まり、芽を摘み取ることになっていないから、次々と同じようなことが繰返され、際限がない。現象面の解決だけになっている現状を本当に改善しようとするれば、時間はかかるようだが、矢張り教育以外にはないと思う。結局これが徹底的で早い解決法だと信じている。

教育は先ず幼時教育に始まらねばならない。「三つ子の魂百まで」と言うではないか。学校に行くまでは家庭の責任が全部だ。学校に行き出せば家庭と学校の共同作業となる。

最近の子供の数も少なく、家庭でも大切にしていって、つい甘やかす。よく問題になる所謂過保護の傾向になっていることはいなめない。また、学校でも先生の暴力が直ぐに社会問題となり、大々的に報道されるので、先生方も腫れ物にさわるといふような萎縮した教育になっているのではなからうか。勿論、体罪を是認する気持は毛頭ないが、間違いに対しては遠慮せず毅然たる態度で注意をし叱ることが、寧ろ人格形成上必要だ。PTAも本当に我が子のことを思えば、先生方に下駄を預けるぐらいのことはしてもよい。家庭で子供が悪いことをしても余り注意も

せず叱りもせぬ父親に、逆に子供が不信を感じるとも聞いている。過保護も放任もよくないが、何にも増して大切なのは、教育する側の人格であり人間性であろう。

子弟を立派な社会人として育てることに家庭も学校も私情を捨てて当るべきだ。これは何も日本の国だけの問題ではない。本当に世界平和を願うなら、全世界が思想を超越して、今からでも遅くはない、教育に力を入れることが先決であろう。国連ぐらいが音頭をとり、世界共通の道徳教科書を作るといのはどうだろう。人間として、社会人として、生きて行く上に最低限守らねばならない道徳を、小さい時に全世界の人々にしっかりと教え込むことだ。言葉や文字は違っても、各国から模範例を出し合って、無料で配布する。世界中の人が、同じ道徳感をベースにして行動すれば、世の中は随分明るくなり、平和の維持に大いに役立つと考えるのだが。

かなりの暴論も交え、いささか次元の低い話ばかりで紙面をけがしたことをお許しいただきたいが、いろいろぼやきはしてみたものの、それでも日本の国は、今の処、他国に比べて正直、すばらしい国と言わざるを得ない。思想、言論の自由はあるし、また国民生活も物質文明の発達と共に平均的に高レベルにあり、内容のバラエティーの豊富さも世界一であろう。従来先進国も精神文明が危機に頻し、一般的には国民も怠惰に流れ、責任感も薄く、治安も悪いと聞く。然し、日本も今のような状態のまま放置すれば、いずれはこれ等の国々と同じような運命を辿るのではなからうか。

私どもは現在に感謝すると共に、常に反省し、精神文明の向上につとめるべき時期が到来しているのではないかと痛感している。